Printia LASER XLシリーズ
Windows® 8 / Microsoft® Windows Server® 2012向け
ソフトウェアガイド補足編

はじめに

Printia LASER XLシリーズ　画面で見るマニュアル「ソフトウェアガイド(B5WY-1531-xx)は、プリンタドライバのインストール方法やユーティリティの使用方法など、主にソフトウェアの操作方法について説明しています。
このマニュアルでは、Prinia LASER XLシリーズを Windows® 8 / Microsoft® Windows Server® 2012 上で使用する際の補足事項について説明します。
このマニュアルをよくお読みいただき、事前の準備と確認を行ってください。

POINT

このマニュアルに記載のインストール手順は、画面で見るマニュアル「ソフトウェアガイド」

「2章 ネットワークを利用したプリンタの接続」(→P21)
「3章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」「USBインターフェースで接続する」(→P75)
「パラレルインターフェースで接続する」(→P88)

のWindows 7/Windows Server 2008 R2での手順と表示内容や操作が異なる部分を主に説明していますので、本書とあわせてお読みください。

このマニュアルの表記について

本文中の記号について

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	印刷されたマニュアル(紙マニュアル：ハードウェアガイド)を表しています。
	画面で見るマニュアル(ソフトウェアガイド)を表しています。
	CD-ROMを表しています。

このマニュアルでは、製品名称などを次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／32ビット版）	Windows 7
Windows® 7 Enterprise（64ビット版／32ビット版）	
Windows® 7 Professional（64ビット版／32 ビット版）	
Windows® 7 Home Premium（64ビット版／ 32ビット版）	
Windows® 7 Starter	
Windows® 8 （64 ビット版／32ビット版）	Windows 8
Windows® 8　Pro（64ビット版／32ビット版）	
Windows® 8 Enterprise（64ビット版／32 ビット版）	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation	

画面例、イラストについて

このマニュアルに記載のされている画面例のIPアドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
画面例でプリンタ名を「XL-xxxx」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名に読替えてください。

Windows 7/Windows Server 2008 R2 との操作の違いについて

Windows 8/Windows Server 2012でプリンタドライバや関連ソフトウェアをインストール・設定する手順は
基本的にWindows 7/Windows Server 2008 R2と同様ですが、次のWindows側の表示や操作手順が異なります。

「Printia LASER プリンタユーティリティ」の起動方法

「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると、
「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」というメッセージが
表示されます。
このメッセージをクリックして表示される「メディアからのプログラムのインストール/実行」という
画面で「Xlstart.exe の実行」をクリックすると、スタート画面がデスクトップ画面に切り替わり
「Printia　LASER プリンタユーティリティ　セットアップ」ウィンドウが表示されます。

POINT

・「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」というメッセージはしばらくすると
消えてしまいます。このような場合は、「エクスプローラ」などを使用して　CD-ROMを開き、
一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。

「コントロール パネル」の表示方法

マウスポインターを画面の右上隅に合わせ、チャームを表示させます。
設定アイコン→「コントロール パネル」をクリックします。

「デバイスとプリンター」（プリンタフォルダ）の表示方法

「コントロール パネル」から、「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

「プリンタのプロパティウィンドウ」の表示方法

『「ファイル」メニュー（または「整理」メニュー）→「プリンターのプロパティ」（または
「プロパティ」）の順にクリックします。』と記載されている手順は以下に読み替えてください。

「デバイスとプリンター」のプリンター一覧からプリンタアイコンを選択し、
右クリックして表示されたメニューから「プリンターのプロパティ」をクリックします。

プリンタドライバをインストールする

ネットワークを利用したプリンタの接続

ネットワークを利用したプリンタの接続は、「Printia LASER プリンタユーティリティ」から
プリンタドライバのインストーラを起動して、セットアッププログラムからインストールを行います。

「ソフトウェアガイド」「2章 ネットワークを利用したプリンタの接続」(→P21)の
Windows 7/Windows Server 2008 R2と手順は同じです。

重要

・インストールを行う前に、あらかじめプリンタにIPアドレスを設定しておいてください。

USB/パラレルインターフェースで接続する

「Printia LASER プリンタユーティリティ」から、プリンタドライバのインストーラを起動して
セットアッププログラムでインストールを行います。

POINT

・富士通製品情報ページ(http://www.fmworld.net/biz/printer/)ドライバダウンロードサービスより
ダウンロードしたプリンタドライバをお使いの場合は
- プリンタドライバが格納されているフォルダ
「D:FJXLINST¥XLSETUP.EXE」(CD-ROMのドライバがD:の場合)をクリックすることで
手順４の「インストールの方法の選択」ウィンドウが表示されます。

重要

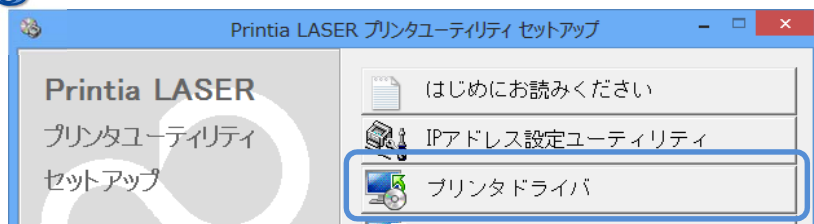
・プリンタとパソコンをUSBケーブルまたはプリンタケーブルで接続する前に、プリンタドライバを
インストールする必要があります。
セットアッププログラムで「プリンタをインストールする準備ができました。」と表示されてから
プリンタとパソコンを接続してください。

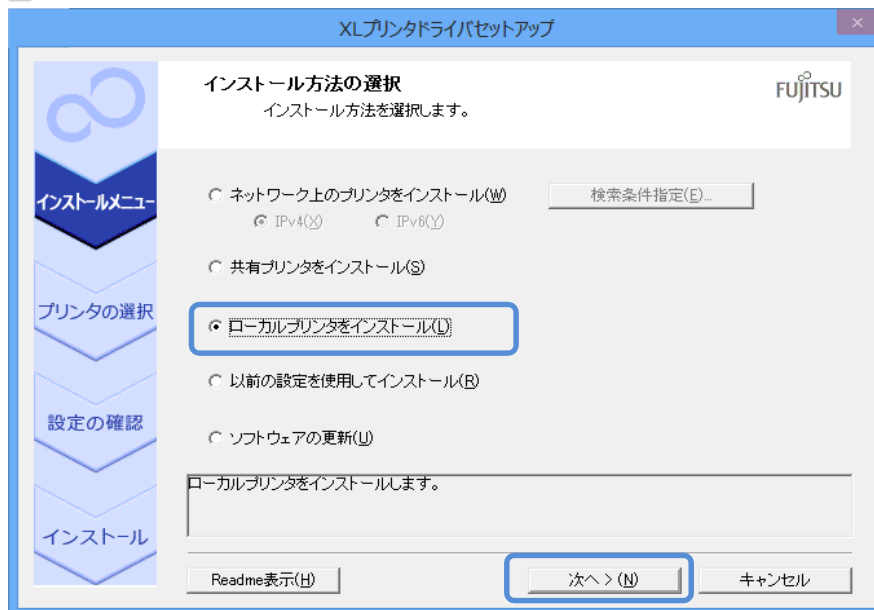
・プリンタドライバのインストール前にプリンタとパソコンを接続してしまった場合は
セットアッププログラムによるプリンタドライバのインストールはできません。
この場合は、ソフトウェアガイド「USBインターフェース接続のときにプリンタが検出されない」
(→P295)の手順で、インストールを行ってください。

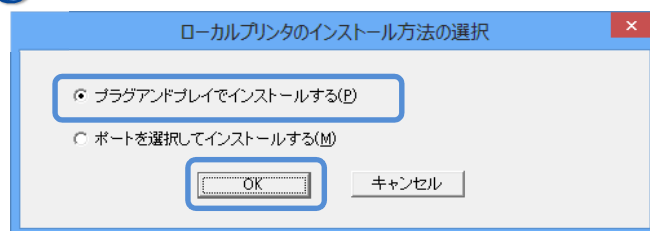
1 管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットします。

本書『「Printia LASER プリンタユーティリティ」の起動方法について』の手順に従い、
「Printia　LASER プリンタユーティリティ　セットアップ」ウィンドウを表示してください。

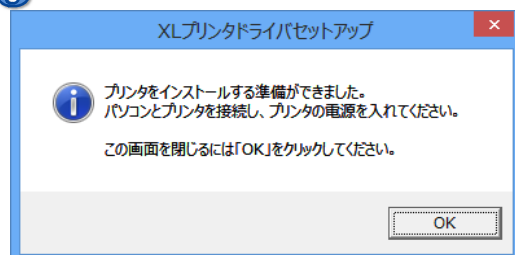
3 メニューから「プリンタドライバ」をクリックします。

「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

4 「ローカルプリンタをインストール」を選択して、「次へ」をクリックします。

「ローカルプリンタのインストール方法の選択」ウィンドウが表示されます。

5 「プラグアンドプレイでインストールする」を選択して、「OK」をクリックします。

POINT

・既存の印刷ポートを使用したい場合は「ポートを選択してインストールする」を選択してください。
「プリンタの選択」ウィンドウが表示されたら、次の手順でインストールを行います。

1. 「プリンタの選択」ウィンドウで、インストールするプリンタの装置名を選択し
「次へ」をクリックします。
2. 「設定の確認」ウィンドウで、インストール内容を確認し、必要に応じて設定を行います。
3. 「インストール」をクリックします。

6 内容を確認して「OK」をクリックします。

7 プリンタとパソコンを、USBケーブルまたはパラレルケーブルで接続してからプリンタの電源を入れます。

重要

・パラレル接続の場合は、プリンタ、パソコンの電源を切った状態で接続し
プリンタ、パソコンの順番で電源を入れてください。

タスクバーにプリンタアイコンが表示され、しばらくすると表示が消えます。

「デバイスとプリンター」フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば
プリンタドライバのインストールは完了です。

8 Windows を再起動します。

マウスポインターを画面の右上隅に合わせ、チャームを表示させます。
設定アイコン→電源→再起動をクリックします。

以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

続いて、「Printianavi2」を手動でインストールする場合は、ソフトウェアガイド（→P93）を
参照してください。

Windows 8/Windows Server 2012でご使用になる際の留意事項

・Windows 8アプリからの双方向印刷(Printianavi2)はサポートしていません。
　複数ページの印刷時に、印刷が途中で打ち切られる場合がありますので片方向印刷でお使いください。
　※デスクトップ上で起動するアプリケーションは双方向印刷(Printianavi2)をサポートしています。

・XLプリンタドライバをアンインストールする際に、「プリンタドライバが使用中のため、削除できません」
　というメッセージが表示されアンインストールが行えない場合があります。
　このような場合は、コンピュータ起動後に一度も印刷を行っていない状態で再度アンインストールしてください。

・USB接続のプリンタをアンインストール後、「デバイスとプリンター」にプリンタアイコンが
　残ったままになることがあります。
　このような場合は、「デバイスとプリンター」で残ったプリンタアイコンを選択し、「デバイスの削除」を
　実行してください。

その他の変更点、留意事項について

Printia XL プリンタドライバ V25.05以降で変更された表示画面や名称について説明します。

プリンタドライバ削除手順

「ソフトウェアガイド」「第5章 プリンタドライバの機能と利用方法」プリンタドライバ削除手順の
「削除する場合」中、「アンインストーラを使用して削除する場合」の手順２(→P191)が次のように
変更になります。

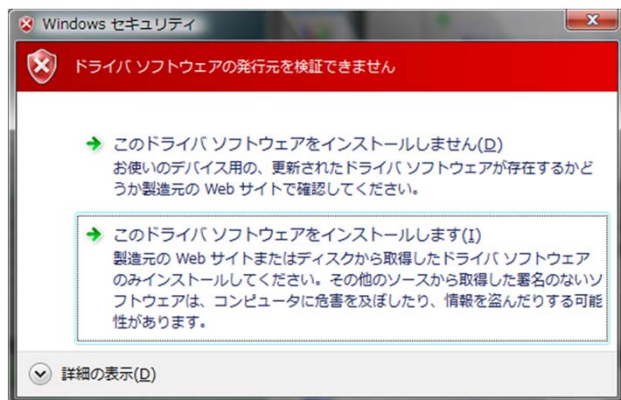
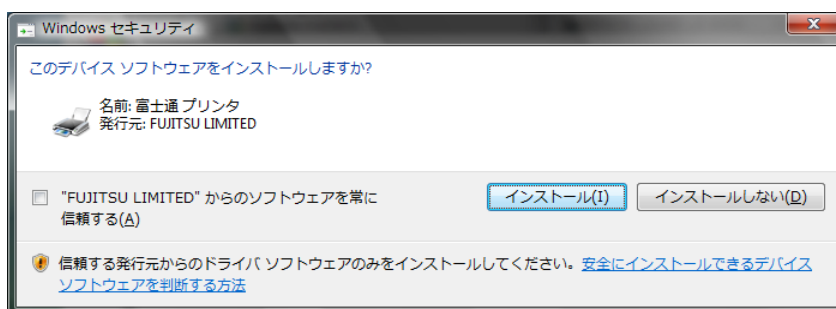
変更前）「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」(または「すべてのプログラム」）→
「Printia XL スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」(または「すべてのプログラム」）
→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「アンインストール」の順にクリックします。

変更後）「スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」(または「すべてのプログラム」）→
「Printia XL スタート」ボタンまたは（スタート）→「プログラム」(または「すべてのプログラム」）
→「Printia XL Utility」→「プリンタドライバ」→「XLプリンタソフトウェア アンインストーラ」
の順にクリックします。

Windows 8/Windows Server 2012の場合は、デスクトップにあるエクスプローラーで
「コンピューター」を表示させ、「プログラムのアンインストールと変更」をクリックします。
一覧から「XLプリンタソフトウェア アンインストーラ」を選択し、「アンインストールと変更」を
クリックします。

「Windows セキュリティ」ウインドウの表示

「ソフトウェアガイド」「第3章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」
「USBインターフェースで接続する」、
「第9章 こんなときには」「1 ソフトウェアに関するトラブルシューティング」
「セットアップ時のトラブルシューティング」
の手順中に表示される「Windows セキュリティ」ウィンドウの画面および操作
(→P77、P81、P298、P304)が次のように変更になります。

変更前）「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合は、「このドライバ ソフトウェアをインストールします」をクリックします。

変更後）「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示された場合は、「インストール」をクリックします。

「ユーザー アカウント制御」ウインドウの表示

「ソフトウェアガイド」「第2章　ネットワークを利用したプリンタの接続」、
「第3章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」、「第4章　プリンタ共有の設定」、
「第5章　プリンタドライバの機能と利用方法」、
「第7章　プリンタの管理（Printianaviネットワークマネージャ）」
の手順中に表示される「ユーザー アカウント制御」ウィンドウの表示内容
(→P37、P45、P69、P76、P93、P105、P188、P222)が次のように変更になります。

変更前）「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

変更後）「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

2012年 10月